

浸水ハザードマップ

内水ハザードマップ

想定最大規模降雨版

小名浜・鹿島地区版

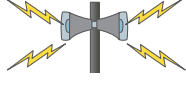
浸水(内水)ハザードマップとは？

浸水(内水)ハザードマップとは、大雨時に下水道などの排水施設の能力を超える降雨が発生した場合、想定される浸水区域や水深などの浸水に関する情報のほか、大雨に備えるための情報をまとめたマップです。

浸水(内水)ハザードマップに記載されている「浸水想定区域図」は、**想定し得る最大規模の降雨(1時間に120mm)**による浸水発生時の想定区域や想定水深を表示したものです。

いわき市からの情報伝達とさまざまな情報の入手先

いわき市では、市内の災害情報や避難情報などについて、多様な手段で市民のみなさんに、いち早くお知らせします。また、気象庁や国土交通省、福島県の提供する気象情報や防災情報なども確認し、災害に備えましょう。

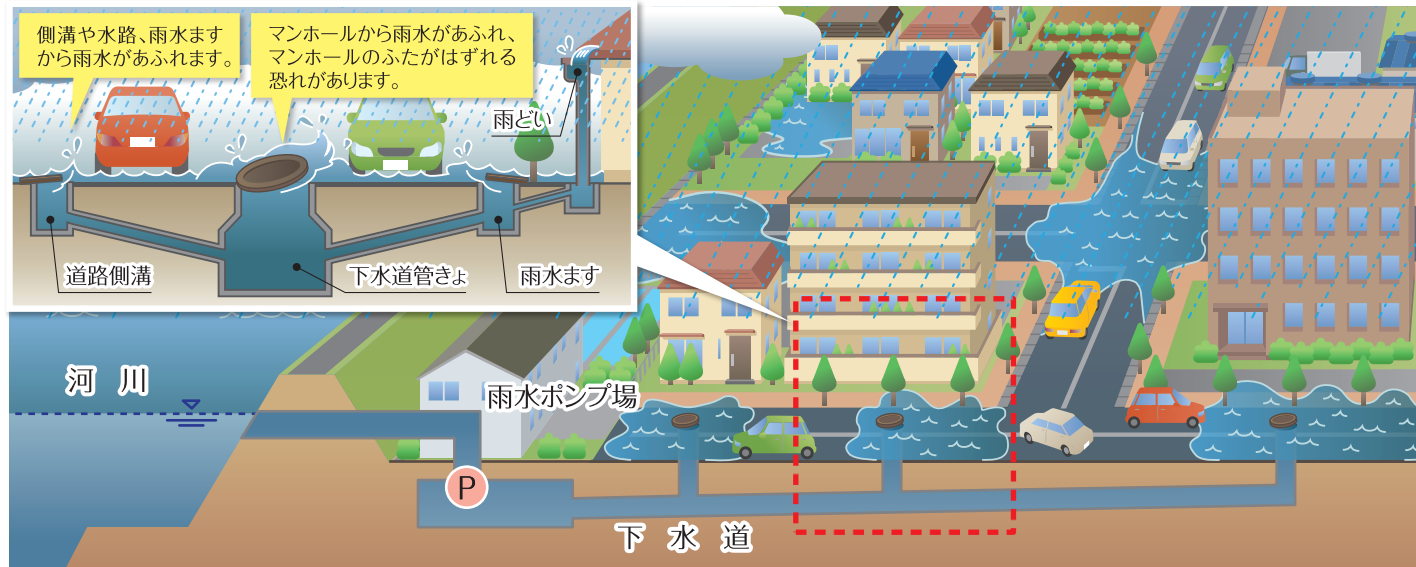
いわき市から発信する避難情報等	国・県・報道機関からの情報
いわき市ホームページ(インターネット) 「防災情報サイト」より気象情報や避難情報など災害時に必要な各種情報が確認できます。 	気象庁(福島地方気象台) 福島県内の防災・気象情報や警戒情報などを確認できます。 
いわき市防災メール 避難情報発令など緊急時には緊急速報メール(エリアメール)を配信します。 ◀◀防災メールの登録はこちら▶▶ 	国土交通省 川の防災情報・川の水位情報 雨量・河川水位、河川CCTVカメラによる河川の状況が確認できます。 
いわき市公式SNS いわき市公式のLINE・X・Facebookでは災害発生時の緊急情報などを配信します。登録はこちら▶▶▶ 	福島県河川流域総合情報システム 県内の雨量・河川水位、土砂災害警戒情報などが確認できます。 
防災行政無線 市内の小中学校や公民館、公園などに設置した屋外スピーカーから放送します。 	テレビ 各放送局の災害情報などから必要な情報をこまめに収集するとともに、NHK総合のデータ放送を活用しましょう。リモコンの「ボタン」を押すと、災害時に必要な各種情報が確認できます。 
福島県防災アプリ 防災情報のプッシュ通知やふくしまイミ避難シートの作成など、いざという時に速やかに避難するための多くの機能を備えています。 	FMいわき(ラジオ) 「FMいわき」では 周波数・・・FM 76.2 MHz ※番組放送中でも強制割込みで災害情報をお知らせします。 



いわき市役所 生活環境部
生活排水対策室 下水道事業課
TEL:0246-22-1195
2025年3月作成

浸水(内水)発生メカニズム

道路側溝や水路、雨水ポンプなどの排水能力を超える大雨が降ると、マンホールからの雨水流出が発生し、道路冠水などの浸水が起こり始めます。浸水(内水)ハザードマップを活用し、適切に行動しましょう。



タイムライン防災(警戒レベルとみなさんが取るべき避難行動)

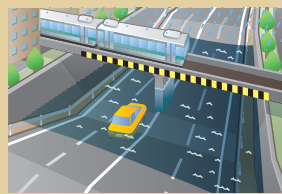
災害が発生する前に、タイムラインを確認して早いうちから避難の準備をしましょう。警戒レベル3や警戒レベル4に相当する防災気象情報や避難情報が発表された場合には、安全・確実に避難をしましょう。警戒レベル5に相当する情報が発表された場合には、命を守る最善の行動をとってください。

警戒レベル	みなさんが取るべき行動	市が出す避難情報	国・県・気象庁からの防災気象情報
警戒レベル5	既に 災害が発生・切迫 している状況です。命が危険ですので直ちに身の安全を確保しましょう。 	緊急安全確保	警戒レベル5相当情報 ●氾濫発生情報 ●大雨特別警報 等
警戒レベル4	<警戒レベル4までに必ず避難>		
全員避難	災害が発生する危険が高まっています。 速やかに危険な場所から避難 しましょう。 	避難指示	警戒レベル4相当情報 ●氾濫危険情報 ●土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3	避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は、 危険な場所から避難 しましょう。その他の方々は避難の準備をし、自発的に避難しましょう。 	高齢者等避難	警戒レベル3相当情報 ●氾濫警戒情報 ●洪水警報 ●大雨警報 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。 		●氾濫注意情報 ●洪水注意報 ●大雨注意報 等
警戒レベル1	最新の気象情報に注意し、災害への心構えを高めます。 		○早期注意情報(警戒級の可能性)

防災メモ

災害時に注意すること

- 避難先などを書いた書き置きを残しましょう。
- 隣近所へ声をかけ合いましょう。
- 道路や鉄道などの立体交差点(アンダーパス)に注意しましょう。



いわき市の近年の豪雨災害

令和元年10月25日豪雨

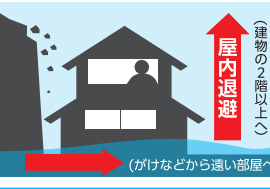
下水道施設(水路や雨水ポンプなど)の排水能力を超える大雨が降ると、次に示すような道路冠水や建物の浸水などが発生します。



浸水状況

避難するときは

避難情報が発令された場合、危険な場所にお住まいの人はすみやかに避難を開始してください。状況に応じて次に示す行動のうち、最も安全な避難行動をとれるよう、日頃から家族や大切な人と話し合っておきましょう。

立退き避難(水平避難)	垂直避難
【状況】 浸水想定区域や土砂災害が発生するおそれのある地域で、そこにいることが危険な場合	【状況】 頑丈で高い建物内にいる場合や、近隣にそのような建物があり避難が可能な場合
【避難行動】 避難所(※)、避難場所、近くの高台、災害のおそれが少ない安全な親戚の家などへ 立退き避難 ※市が開設する避難所は市ホームページやテレビのデータ放送などで確認してください。	【避難行動】 建物の2階以上へ 垂直避難
	

避難訓練に参加しましょう

地域ではこのハザードマップを活用した訓練を行い、災害時の適切な行動につなげましょう。また、いわき市では総合防災訓練を実施しておりますので、積極的な参加をお願いします。防災訓練の実施日などについては市ホームページで確認できます。

いわき市 防災情報サイト

検索



他のハザードマップの作成状況

いわき市では以下のハザードマップを作成・公表しています。自宅や職場などに、どのような災害リスクがあるのかを確認し、災害発生時にとるべき行動を確認しましょう。

河川洪水ハザードマップ	土砂災害警戒区域総括図
津波ハザードマップ	農業用ため池ハザードマップ
	道路冠水注意箇所マップ

いわき市防災マップ・・・洪水、津波、土砂災害の重ね合わせ版

各ハザードマップはホームページで公開しています。いわき市公式LINE(SNS)でも確認できます。

いわき市 ハザードマップ

検索



浸水への備え

家の近くの側溝や雨水ますの点検・清掃をしましょう。

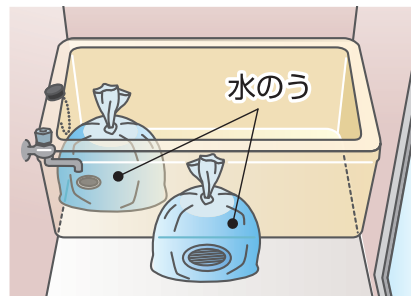
側溝や雨水ますに落ち葉やゴミなどが詰ったり、物を置いたりすると、雨水が流れなくなり、浸水の原因になります。

▶側溝や雨水ますの点検・清掃にご協力をお願いします

家庭にある身近なもので浸水を防ぐ用具を準備しましょう。

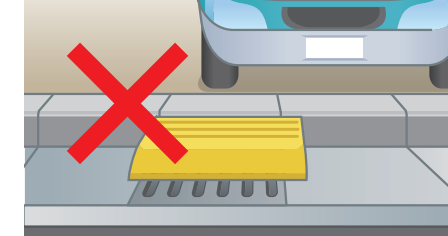
ご家庭にある用具を利用することにより、浸水被害を軽減させることができます。

▶水のうで排水口をふさぐ



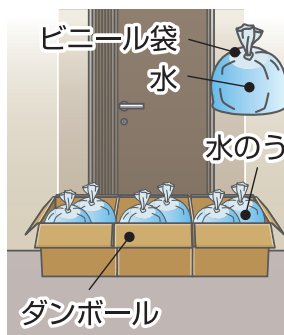
ビニール袋を水で満たした「水のう」でトイレやお風呂の排水口を一時的にふさぐことで、下水の逆流を防ぐ。

物を置かないでください

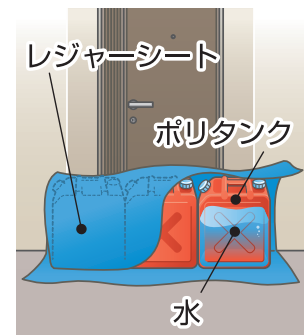


側溝や雨水ますの上に物を置くと、浸水の原因になります。

▶浸水対策例



水を入れたビニール袋とダンボール箱の組合せ



ポリタンクとレジャーシートの組合せ

家庭でもできる浸水・環境対策

雨水を利用したつぎの施設を設置する際、いわき市の補助金が受けられます

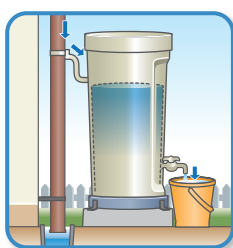
市では健全な水循環の確立を目指すため、**公共下水道事業計画区域内**において、雨水流出抑制施設および止水板を設置する方に対し、費用の一部について補助をしています。水の流れを自然の姿に近づけるため、皆さんも雨水の有効利用に取り組みましょう。

1 下水道への接続により不要となる浄化槽の雨水貯留施設への転用

下水道に接続することで、いらなくなった浄化槽を雨水貯留タンクとして雨水をためてもらい、庭木や芝への散水に利用してもらいます。

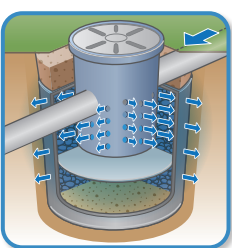
2 雨水貯留タンク

雨どいを、雨水貯留タンクに接続し、雨水をためてもらい、庭木や芝への散水に利用してもらいます。



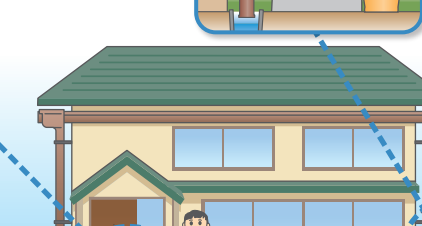
3 雨水浸透ます

雨水ますに、穴を開けてもらい、その周りに碎石や透水シートを敷設することにより、雨水を地下に浸透させます。



4 止水板

建物の出入口などに設置することで、建物の中へ水が流れ込むのを防ぎます。



※浄化槽転用に関しては、下水道供用開始区域内に限ります。※いわき市または、市が指定する下水道排水設備工事店にご相談ください。